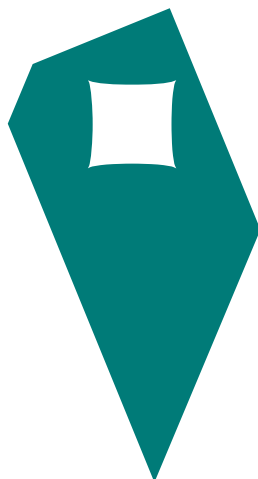


第9回 プラチナ大賞
募集要項



— 新たな可能性を創造し、豊かで快適な社会を目指して —

1 「プラチナ大賞」の目的

「プラチナ大賞」は、イノベーションによる新産業の創出やアイデアあふれる方策などにより社会や地域の課題を解決し、「プラチナ社会」の姿を体現している、または体現しようとしている全国の自治体や企業などの取り組みを賞として称え、これらを「プラチナ社会」のモデルとして広く社会に発信することを通じて、「プラチナ社会」の実現に向けたビジョンや具体的なアクションへの理解・浸透を図るものです。2013年に第1回を開催し、今回で第9回目を迎えます。

プラチナ大賞運営委員会では、「プラチナ社会」の理念や具体的な取り組みへの理解・浸透をより深めるとともに、いまだ世に知られていない先進的な取り組みや多種多様な取り組みを広く募集し、社会に向けて発信していきたいと考えています。

2 「プラチナ社会」とは

人口減少、急激に高齢化する社会、地球温暖化等、課題先進国である日本では、老朽化していく都市インフラ、活力を失う地方の市街地、荒廃する農地、財政を圧迫する社会保障全般、人材養成の困難とその海外流出、新たな負担となった地球環境への対応など、さまざまな課題が生じています。

これらの課題は物質的な豊かさを達成した先進国ならではのものであり、これらを日本が「課題先進国」としていち早く乗り越えることは、一方で新たな社会システムの構築、新しいビジネスの創造に繋がる、大いなる可能性に満ちた挑戦であるとも言えます。私たちは「課題解決先進国」として日本が目指すべき社会を「プラチナ社会」と定義しました。

・エコロジーで

(人間にとって快適な自然環境の再構築、環境との調和・共存)

・資源の心配がなく

(エネルギー効率の向上、自然エネルギー活用、物質循環システムの構築)

・老若男女が全員参加し

(生涯を通じた成長、社会参加の機会創造、健康で安心して加齢できる社会)

・心もモノも豊かで自己実現が目指せる

(文化・芸術に彩られた暮らし、飽和・停滞を打破する「限界を超えた成長」)

・雇用がある社会

(イノベーションによる新産業の創出)

「プラチナ社会」の姿は、このような条件を備えたうえで地域ごとの個性的様相を帯びるものであり、その実現のためには各地域独自の自立的かつチャレンジングな取り組みが重要となります。

3 募集内容

1) 応募主体

プラチナ構想ネットワークの自治体会員、法人会員、ベンチャー企業会員、特別会員を応募の対象とします。

また、非会員は会員と共同で応募が可能です。

2) 募集対象

以下のコンセプトに沿った「取り組み」を広く募集します。

◎「プラチナ社会」の必要条件、すなわち①「エコロジーで」②「資源の心配がなく」③「老若男女が全員参加し」④「心もモノも豊かで自己実現が目指せ」⑤「雇用がある社会」のすべて、またはこれらの一部の実現を目指して行われている取り組みであること

◎「プラチナ社会」の必要条件を踏まえ、特定分野あるいは複数分野の課題解決に繋がる具体的な取り組みであること

※同一会員による複数の応募が可能です。

※また過去にご応募いただいた取り組みについても、その進捗や最新の状況を加味していただいた上で、再度ご応募いただくことも可能です。

4 応募方法

応募資料（所定の応募用紙および参考資料）をプラチナ大賞運営委員会事務局宛にメール添付にてご提出ください。

E-mail : pt-taishou@platinum-network.jp

その際、メールのタイトル（件名）は、『「プラチナ大賞」応募書類送付 【団体名】』としてください。

なお、募集要項並びに応募用紙はプラチナ構想ネットワークのホームページからダウンロードできます。

<https://www.platinum-network.jp/pt-taishou2021/schedule.html>

5 応募先・問い合わせ先

プラチナ大賞運営委員会

[事務局] プラチナ構想ネットワーク事務局 担当：吉田、伊藤、高橋

TEL : 03-6858-3546

E-mail : pt-taishou@platinum-network.jp

6 応募締切

2021年7月16日(金) 17時 ※必着

7 審査

1) 審査基準

「プラチナ大賞」審査の主なポイントはP4~5のとおりです。

2) 審査方法

審査の手順は以下のとおりです。

第一次審査：応募資料（応募用紙および参考資料）による書類審査

最終審査：会員ご本人等によるプレゼンテーションを実施のうえ審査

※第一次審査・最終審査の結果は、プラチナ構想ネットワークのホームページにて公表します。

3) スケジュール

募集開始 2021年5月10日(月)

応募締切 2021年7月16日(金) 17時 ※必着

第一次審査 2021年9月9日(木)

最終審査 2021年10月21日(木)

4) 審査委員

審査委員は下表のとおりです。(50音表記)

役職	氏名(敬称略)	所属
委員長	武内 和彦	公益財団法人地球環境戦略研究機関 理事長
副委員長	秋山 弘子	東京大学 名誉教授 東京大学未来ビジョン研究センター 客員教授
委員	石戸 奈々子	一般社団法人超教育協会 理事長 慶應義塾大学 教授
委員	岸本 一朗	株式会社エフシージー総合研究所 代表取締役社長
委員	西條 都夫	株式会社日本経済新聞社 上級論説委員兼編集委員
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	月尾 嘉男	東京大学 名誉教授
委員	西村 幸夫	國學院大學新学部設置準備室長・教授
委員	増田 寛也	日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長
委員	山田 メユミ	株式会社アイスタイル 取締役

8 各賞・表彰

1) 表彰

2021年10月21日(木)開催予定の「第9回プラチナ大賞 最終審査発表会・表彰式」にて行います。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、アルコール消毒液の設置、ソーシャルディスタンスの確保などの対策を講じます。また、状況に応じて最終審査発表会・表彰式の延期・中止・規模縮小をさせていただく場合がございます。[会場：イイノホール（東京都千代田区内幸町2-1-1）]

2) 賞の内訳

- ・大賞・総務大臣賞 1件 [賞状及び副賞（トロフィー）]
- ・大賞・経済産業大臣賞 1件 [賞状及び副賞（トロフィー）]
- ・優秀賞 10～13件程度 [賞状及び副賞（トロフィー）]

3) その他

- ・ご応募いただいた取り組みの概要1頁を当日のプログラム冊子に任意で掲載することができ、今後の取り組みのPRに役立てて頂けます。
- ・各賞受賞自治体については「プラチナ社会」実現に向けた素晴らしい取り組みを始めている自治体として「プラチナシティ」に認定し、認定証・シンボルマーク・徽章をお贈りします。ウェブサイトやパンフレット、名刺等に表示することで、今後の取り組みのPRに役立てて頂けます。
<https://www.platinum-network.jp/pt-taishou/platinum-city.html>

9 応募上の留意事項

- ◎応募用紙は最大10ページ程度までとしてください。
- ◎取り組みの内容を把握・理解するうえで必要な参考資料がある場合は、最大2点までとし、A4サイズの電子データに加工のうえ、応募用紙とあわせて送付してください。
- ◎画像等を参考資料の一部として用いることも可能です。
ただし、第三者の著作権、肖像権、プライバシー等を侵害することのないよう十分ご注意ください。
- ◎ご応募いただいた取り組みの内容は、「プラチナ構想ハンドブック」等、プラチナ構想ネットワークの活動において活用させていただくことがあります。あらかじめ、ご了承ください。
- ◎最終審査発表・表彰式においてプレゼンテーションなどの模様は、カメラ等で撮影し、プラチナ構想ネットワークのホームページ（プラチナTV）に掲載します。あらかじめ、ご了承ください。
- ◎ご応募いただいた取り組みの内容について、ヒアリングを行う場合があります。その際は、ご対応のほどよろしくお願いいたします。

以上

「プラチナ大賞」審査の主なポイント

1) 共通審査基準

「プラチナ社会」を体現している、または体現を目指している取り組みであることを前提として、以下の①～⑥のポイントに着眼して総合的に審査します。

① 社会的ニーズへの対応

- ・大きく変化する社会的ニーズ（潜在的ニーズを含む）を的確に捉えているか。

② 創造性・革新性

- ・アウトプットや取り組みのプロセスに新しい発想や工夫がみられるか。
- ・イノベーションや新産業の創出などの波及効果が期待できるか。

③ 実効性

- ・当該取り組みは、課題解決策となっているか。
- ・社会・地域・産業等に対する効果があったか、あるいは期待できるか。

④ 協働の実現性

- ・実現可能な取り組みの推進体制になっているか。
- ・産（企業）官（自治体）民（市民）学（大学等）などの複数のステークホルダーが連携し、それぞれが持てる力を十分に発揮できるような体制・仕組みとなっているか。

⑤ 持続可能性

- ・当該取り組みを継続・発展させるうえで、安易に公的資金に頼ることのない運営を志向し、持続可能な設計・仕組みとなっているか。
- ・当該取り組みを安定的に継続・発展させるための体制・仕組みとなっているか。

⑥ 展開可能性

- ・他の地域・企業・産業等の領域に当該取り組みの普及・展開があったか、あるいは期待できるか。

2) 各賞選考基準

以下の観点により各賞を選考します。

① 大賞・総務大臣賞

- ◎応募取り組みの中で、「プラチナ社会」のモデルの体現、実現(可能性含む)という観点において、大変優れていると審査された取り組みであること
- ◎地域の特色を活かした取り組みであること
- ◎取り組みの成果として、新たな価値を生み出すようなコミュニティの活性化や社会システムの構築などに係る効果を認められるか、または認められる見込みがあるもの

② 大賞・経済産業大臣賞

- ◎応募取り組みの中で、「プラチナ社会」のモデルの体現、実現(可能性含む)という観点において、大変優れていると審査された取り組みであること
- ◎取り組みを実装する場があり、地方自治体と民間事業者等とのパートナーシップにより実現されていること
- ◎社会の課題を解決する革新的なビジネスモデルを提示していること
- ◎取り組みの成果として、商工業等の発展や雇用創出に係る効果を認められるか、または認められる見込みがあること

③ 優秀賞

- ◎「プラチナ社会」のモデルの体現、実現(可能性含む)という観点において、優秀、または突出していると審査された取り組みであること

以上

(参考) 第8回プラチナ大賞受賞団体

◆◆ 大賞・総務大臣賞

神奈川県	新型コロナウイルス対策に係る「LINE コロナお知らせシステム」「新型コロナ対策パーソナルサポート（行政）」「感染防止対策取組書」等を組み合わせた仕組みについて
------	--

◆◆ 大賞・経済産業大臣賞

Global Mobility Service 株式会社 特別会員 関根 秀昭様	日本発 世界の貧困層・低所得層 17 億人を救う金融包摂型 FinTech サービス
---	--

◆ 優秀賞

【ライフデザイン賞】 都城市	高齢化社会を支えるおくやみフルサポート事業
【地域再生賞】 小豆島・迷路のまちアートプロジェクト MeiPAM 小豆島・迷路のまち妖怪プロジェクト実行委員会 小豆島ヘルシーランド株式会社	妖怪美術館と折り鶴アートによる古民家再生で「迷路のまち」を“まち磨き” ～オリーブの恵みから新たな観光資源創出で持続可能な地域創生へ～
【きらり活動賞】 和歌山県	高校生・大学生と創る「お身代わり仏像」Project ～未来に伝える 和歌山の文化財～

【e-ヘルス賞】 株式会社T-ICU	情報通信を用いた遠隔ICUによる診療支援
【地域人材育成賞】 高浜市	たかはま夢・未来塾事業
【次世代社会づくり賞】 川崎市 川崎臨海部水素ネットワーク協議会	水素社会の実現に向けた川崎水素戦略 ～川崎が水素で世界を変える～
【環境配慮賞】 大成建設株式会社	日本の明るい未来をつくるために、建設業界における先進的な取り組み ～『先進的環境配慮型作業所』『環境配慮型施工』『働き方改革』の標準化を目指して～
【チャレンジング賞】 株式会社HIROTSU バイオサイエンス	地球規模のプラチナ社会を実現する「生物×医療」による世界初のイノベーション 線虫がん検査『N-NOSE®』
【新しい時代のまちづくり賞】 東急株式会社 町田市 東急電鉄株式会社	南町田グランベリーパーク ～官民連携による“暮らしのグリーンインフラ”の創出～
【インクルーシブ賞】 埼玉県	「埼玉県方式」による子供の居場所拡大
【技術革新賞】 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 JAきたみらい、JA十勝連合会	冬の寒さを利用して人と環境に優しい持続可能な農業を実現
【統合的地域づくり賞】 上士幌町 株式会社生涯活躍のまちかみしほろ 株式会社 Karch	「だれもが生涯活躍・環境と調和したビジネス展開」プロジェクト ～イノベーションでスマートタウンを目指すまち かみしほろ～

※順不同



〈主 催〉プラチナ構想ネットワーク（会 長：小宮山宏）
 プラチナ大賞運営委員会（委員長：増田寛也）
〈後 援（予定）〉総務省、経済産業省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、特別区長会
〈事務局〉プラチナ大賞運営委員会事務局（プラチナ構想ネットワーク事務局）